乳児保育Ⅰ　　岡南 愛梨

授業概要

近年、保育を利用する３歳未満の子どもたちの割合が増えている。乳児（０歳児・１歳児・２歳児）は、特に環境や大人とのかかわりの中で成長していくため、その特性を理解し、適切にその育ちを支えることが大切である。現代の乳児の生活について理解し、一人ひとりの子どもに寄り添った保育を行うための基礎を養う。３歳未満児の育ちや生活についての基本的知識と、乳児保育の歴史、保育内容や保育方法について講義する。

授業計画

第１回	オリエンテーション　乳児保育の目的と役割
第２回	乳児保育の歴史
第３回	乳児保育の現状と課題
第４回	０・１・２歳児の発達①　身体の発達
第５回	０・１・２歳児の発達②　こころの発達　アタッチメント
第６回	０・１・２歳児の発達③　言葉・社会性の発達
第７回	保育所保育指針における乳児保育のポイント
第８回	乳児保育における保育者　保育者の関わり方の基本、複数担任制
第９回	乳児の生活の基本① 食事・睡眠・排泄
第 10 回	乳児の生活の基本② 着脱・清潔
第 11 回	乳児の健康と安全
第 12 回	乳児の遊びと環境構成
第 13 回	保育施設での乳児の１日の流れ・計画
第 14 回	現代社会における乳児の生活　育児用品や育児文化
第 15 回	保護者との連携　子育て支援
第 16 回	筆記試験

到達目標

・乳児保育（０・１・２歳児の保育）の歴史、現状や課題を理解することができる。
・乳児の育ちと発達の過程を説明することができる。
・乳児の生活を支える保育方法やその計画を理解し、構想することができる。
・乳児の家庭での生活について学び、保護者との連携について理解することができる。

履修上の注意

・授業では，適宜，視聴覚教材を使用したりグループワークを実施したりすることで，体系的に学んでいく。
・積極的に授業に参加すること。教科書や資料を常に持参すること。

予習・復習

・予習：教科書の該当テーマに関連するページを通読し、疑問点やコメントを記す。わからない単語や概念については文献やインターネット等で確認しておく。
・復習：ノートや資料を読み直し、学んだ点と疑問点をまとめることで理解を深める。

評価方法

・受講態度（20%）、課題への取り組み（30%）、試験（50%）で評価を行い、総合評価 51 点以上を合格点とする。

テキスト

・教科書名：はじめて学ぶ乳児保育
著者名：志村聡子編著、塩崎美穂・藤枝充子・渡邊美智子・坂田知子・柳井郁子・小柳康子・宇都弘美著
出版社名：同文書院
出版年（ISBN）：2022 年（978-4-8103-1515-8）
参考文献：保育所保育指針解説書・幼稚園教育要領解説書